

## 令和 3 年度（下半期） 淀川管内河川レンジャー活動報告

令和 4 年 2 月 2 8 日

高槻出張所管内河川レンジャー

杉本 真一 (14 期生: 試行)

グループ河川レンジャー

酒井 信行 (責任者)

小島 知晃 (構成員代表)

河川レンジャーアドバイザー

原 健二


## 目 次

○杉本河川レンジャー活動報告	.....	1
1. 高槻ジュニア河川レンジャー～川の安全ウォーク～	・令和3年12月5日(日)...	1
○原河川レンジャーアドバイザー活動報告	.....	3
2. 第37回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG	・令和3年10月11日(月)	3
3. 冬の鳥観察と野草の迷路探検活動	・令和4年1月16日(日)	6
○酒井グループ河川レンジャー活動報告	.....	8
4. 第23回三島江切り下げ地再樹林化防止大作戦&外来種駆除作戦	・令和3年10月30日(土).....	8
○連携活動報告	.....	10
5. 鳥飼ワンドの外来植物駆除 報告・勉強会(オンライン)	・令和3年10月16日(土)	10
6. 鳥飼ワンド外来植物駆除大作戦	・令和3年11月7日(日)	13

# ○杉本河川レンジャー活動報告

## 1. 高槻ジュニア河川レンジャー～川の安全ウォーク～ ・令和3年12月5日(日)

### 実施状況

活動名	高槻ジュニア河川レンジャー ～川の安全ウォーク～			
氏名	杉本 真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年12月5日（日）			
実施場所				
参加対象	地域の子ども（小学校3～6年生）			
参加人数 および 団体名	参加総数	11名		
	参加者	7名	子ども7名	
	講師	-		
	スタッフ	3名	NPO 法人ノートのスタッフ	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日 準備 のみ	-
			行政 機関	当日 準備 のみ
		学校 関係	当日 準備 のみ	-
		淀川河川事務所	-	
		河川レンジャー事務局	1名	
	スケジュール	10:30	集合（芥川大橋） 挨拶、スタッフ紹介、行程・安全上の注意説明、コロナセーフティトーク	
	10:45	フィールドワークスタート チェックポイント：芥川大橋（芥川一号井堰・魚道）→津之江公園→城西橋（管理境界）→JR 京都線芥川橋梁（大阪府管理井堰）		
	12:00	ワークシートへの記入（観察調査写真を地図に貼り合わせ）		
	12:15	ふりかえり・交流		
	12:20	まとめ・閉会		
	12:30	解散		
配付資料	・川の安全ウォーク調査報告シート			
関係機関からの 支援内容	-			
河川レン ジャーの 活動内容	準備	参加者申込み受付、詳細の連絡（メールにて） 現地下見（行程確認と安全確認） 資料印刷		
	当日	プログラムの運営、健康調査票の回収		
	事後	調査報告シートのまとめ、活動記録の記入		

<p>参加者からの意見</p>	<p><b>【子どもたちの感想】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摂津峡の川より芥川の方が汚かった。</li> <li>・ 川がふたつあった。(あくた川とよぜ川)</li> <li>・ 「あぶない」の看板があり、泳げないのが分かった。</li> <li>・ さかなのために、いろいろな工夫をしてあった。</li> <li>・ 高槻は(市域が)細長いことがわかった。</li> <li>・ 場所によって川の深さがかわっていた。</li> <li>・ 川に少し興味がわきました。</li> </ul>
-----------------	---

活動状況



河川管理境界の説明



看板の前で深みを説明



川の様子を撮影



調査シートへの記入

# ○原河川レンジャーアドバイザー活動報告

## 2. 第37回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG・令和3年10月11日(月)

### 実施状況

活動名	第37回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG				
氏名	原 健二 (河川レンジャーアドバイザー)				
運営形態	主催				
活動日時	令和3年10月11日(月)				
実施場所	高槻市冠コミュニティセンター				
参加対象	地域住民				
参加人数 および 団体名	参加総数	14名			
	参加者	2名	建設環境研究所 (国交省より業務委託)		
	講師	—			
	スタッフ	—			
	連携 団体 関係者	市民 団体 等	当日	6名	冠地区コミュニティ協議会(3)、南大冠東地区住民会議(2)、南大冠公民館館長
			準備のみ	—	
		行政 機関	当日	2名	高槻市下水河川企画課
			準備のみ	—	
学校 関係	当日	—			
	準備のみ	—			
	淀川河川事務所	3名	淀川河川事務所公園課(課長、専門官、係長)長他2名、高槻出張所長、専門官		
	河川レンジャー事務局	1名			
スケジュール	16:30	開始	原 RA より本日議事次第及び配布資料に沿って説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防道路横断雄安全性改善に関して</li> <li>・淀川河川公園中流右岸地域協議会(9/28)の報告</li> <li>・水難事故防止現地調査報告</li> <li>・今後の取り組みについての意見交換</li> </ul>		
	18:30	終了			

配付資料	①イワダレソウ植被率推移②高槻市による堤防横断会談周辺の草刈り状況③淀川河川公園中流右岸地域協議会資料抜粋(大塚地区におけるワーキングの活動状況について)④淀川河川公園大塚地区公園整備計画⑤淀川河川公園大塚地区ワーキング⑥河川レンジャー水難事故防止現地調査票⑦大塚湾殿遊歩道整備提案⑧大塚地区冬の野鳥観察と迷路探検実施要領(案)⑨第36回淀川河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG議事録⑩河川レンジャーニュース	
関係機関からの支援内容	高槻市：冠コミュニティセンター無料貸し出し、机提供、体温測定、消毒等 淀川河川事務所：資料提供 河川レンジャー事務局：資料のコピー等	
河川レンジャーの活動内容	準備	意見交換会の議事資料作成。
	当日	議事進行、コロナ感染予防対策
	事後	活動報告書まとめ
参加者からの意見	<p>【議事内容・要望・意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>堤防道路横断の安全性改善に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>公園の入口が雑草に覆われていたため、分からず通り過ぎた。公園から出る時も見づらい。その後高槻市で1m程度除草されたことにより分かりやすくなった。(堤防助走は現在島本町より順次実施。当該箇所はもう少し待ってほしい)</li> <li>イワダレ草植被率推移に関し、昨年上流部は機械式、下流部は肩掛け式で除草してもらったが、機械式ではイワダレ草の大部分が切られた状態であったので今年はずべて肩掛け式でお願いしたい。</li> </ul> </li> <li>淀川河川公園中流右岸地域協議会の報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域協議会に添付の大塚地区におけるワーキングの活動状況を資料として提出しており、共有できることを願っている。</li> <li>活動の事例を記載しており、季節ごとに活動ができないか議論を進めたいと思っている。</li> <li>左岸に比べ右岸は自然に近い状況にあり、自然を生かした考えで進めていきたいと思っている。</li> <li>現在の太塚地区のワンドの出入りが自由になるのはいつか。(工事を引き続き実施しており当面は立入り禁止) 出入り口が雑草で覆われ分かりづらいので、立入り可能な段階では除草をお願いします。</li> <li>WGで提示している資料のように、ワンドの肩部に遊歩道を設置できないか。利用が多くなれば遊歩道も維持されるのではと思う。</li> <li>釣りを目的とした利用者が多いので、その面からの意見も取り入れてはどうか(公園課長より)</li> <li>河川公園の利用者を増やしていきたいという取り組みの中で、太塚地区の公園整備計画を来年度より設計計画するにあたり、魅力あるものにするために学校関係教育者、地域の利用者からの目で議論できたらと願っており、本WGのメンバーも参加していただきたいと思っている。</li> <li>親水エリア計画があるが、危機管理、維持管理など行政側としての限界もある。安全面でいろいろ問題が多い中で、皆さんの意見を取り入れ魅力ある川らしい公園を目指し、これを含めて議論できればと思っている。</li> </ul> </li> <li>水難事故防止現地調査報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>ロープで立入り禁止表示があるが、現状は釣り人中心に侵入。砂浜は子供たちの絶好の遊び場として利用。危険が理解できる看板が必要。伐木をすることにより公園利用者からの監視が行き届く。等</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>水際の安全利用の在り方、指導に関しては必要なことではあるが、具体的指導方法について課題がある。</li> </ul> </li> <li>次回予定 <p>日時：2022年1月24日(月)16:30~18:30 場所：高槻市冠コミュニティセンター</p> </li> </ol>	

## 活動状況



議題説明



堤防肩及び階段付近の除草の説明



整備・管理運営、公園整備計画について説明



今後の取り組みについての意見交換

### 3. 冬の鳥観察と野草の迷路探検活動

・令和4年1月16日（日）

#### 実施状況

活動名	冬の鳥観察と野草の迷路探検			
氏名	原 健二 (河川レンジャーアドバイザー)			
運営形態	共催			
活動日時	令和4年1月16日（日）			
実施場所				
参加対象	地域住民			
参加人数 および 団体名	参加総数	39名		
	参加者	27名	大人13名、子ども14名	
	講師	1名	高田氏（高槻市立自然博物館、主任学芸員）	
	スタッフ	—		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	3名
	準備のみ		—	
学校 関係	当日	—		
	準備のみ	—		
淀川河川事務所		7名	河川公園 課長他3名、建設環境研究所2名 淀川河川公園管理センター1名	
河川レンジャー事務局		1名		
スケジュール	9:30	参加者受付開始		
	10:00	開会式、公民館館長挨拶、公園課長挨拶、講師紹介、スケジュールと注意事項説明		
	10:15	冬の鳥観察開始		
	11:35	野草の迷路探検開始		
		出口にてアンケート回収後、参加者は流れ解散		
	12:00	終了解散		
配付資料	冊子「野鳥観察会」、野鳥クイズ、アンケート2点、河川レンジャーNEWS、ペグシル			
関係機関からの 支援内容	淀川河川事務所：野草迷路設計施工、野鳥解説冊子製作 高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）：双眼鏡、野鳥解説監修 公民館：はにたんのぼり、消毒液、ブルーシート、 河川レンジャー事務局：河川レンジャーのぼり、テーブル、ビブス、救急セット、 バインダー、ハンディマイク			
河川レン ジャーの 活動内容	準備	10/13 高田講師との打合せ 10/15 南大冠公民館との打合せ 10/18 淀川河川事務所関係者との打合せ 11/ 4 河川公園管理センターへ公園一時使用届提出 11/13 野草迷路野鳥解説看板設置 1/14 事前確認 1/15 実施可否判断		



	当 日	7:00 実施の可否判断 スタッフ集合し役割分担確認、受付準備、後片付け
	事 後	借用品返却 活動報告書作成
参加者からの意見		<p>■冬の鳥観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充分満足です。</li> <li>・双眼鏡だけでなくデジカメなどで、みんなで見れるのもっと面白い。</li> <li>・パンフレットに無い鳥を多く見た。実際に居る鳥の絵があるとより楽しいかも。</li> <li>・知らない鳥や、名前のわからない鳥が知れて、とても楽しかった。</li> <li>・先生がとてもよかった。興味が沸いた。</li> </ul> <p>■野草の迷路探検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもには良かった。</li> <li>・もっとトラップがあるとおもしろい。</li> <li>・カヤネズミの巣が見られてよかった。</li> <li>・行き止まりもあり、子どもは楽しんでいました。</li> <li>・いろいろな鳥の特徴が見れておもしろかったし、勉強になった。</li> <li>・色んな看板が見れて楽しかった。夏もやってほしい。</li> </ul>

## 活動状況



野草迷路の説明



河川公園課長の挨拶



冬の鳥観察



野草迷路探検

# ○酒井グループ河川レンジャー活動報告

## 4. 第23回三島江切り下げ地再樹林化防止大作戦&外来種駆除作戦 ・令和3年10月30日(土)

### 実施状況

活動名	第23回三島江切り下げ地再樹林化防止大作戦&外来種駆除作戦			
氏名	酒井 信行 (高槻出張所管内グループ河川レンジャー) 小島 智晃 (高槻出張所管内グループ河川レンジャー)			
運営形態	主催			
活動日時	令和3年10月30日(土)			
実施場所				
参加対象				
参加人数 および 団体名	参加総数	16名		
	参加者	1名		
	講師	—		
	スタッフ	—		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	—
			準備のみ	—
		行政 機関	当日	—
			準備のみ	—
学校 関係	当日	12名	高槻第6中学校 10名、クラブ顧問 1名 大工大名誉教授	
	準備のみ	—		
淀川河川事務所	2名	河川公園事務所 2名		
河川レンジャー事務局	1名			
スケジュ ール	10:00	開始		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>酒井 GR による本日の活動内容の説明およびコロナのセーフティトーク</li> <li>小島 GR による伐木に関する注意事項</li> </ul>		
	10:10	樹木 (ヤナギの木) の伐採活動の開始		
	11:35	小島 GR によるヤナギの再樹林化抑制対策の説明および実験木の観察		
12:00	終了			
配付資料	—			
関係機関からの 支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>淀川河川事務所：ノコギリ、カマ、剪定バサミ</li> <li>レンジャー事務局：アルコール消毒液、体温計、救急箱</li> </ul>			

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川公園管理センター：伐木作業エリアの除草</li> </ul>
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下見を実施し、伐木エリア、安全対策などを確認</li> <li>・三島江切下げ区域の伐木など管理方針について意見交換</li> <li>・貸与資機材について借用（高槻出張所、レンジャー事務局）</li> </ul>
	当日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策等安全管理について説明</li> <li>・三島江切下げ地の管理方針やヤナギの伐木について説明</li> <li>・環状剥皮法の実験木について観察会</li> </ul>
	事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸与資機材について洗浄、返品（高槻出張所、レンジャー事務局） (12:00~12:30 後かたづけ)</li> </ul>
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環状剥皮法の実験木について、効果が出ている実験木とそうでない実験木があり今後も観察を継続する必要がある。</li> <li>・本活動には伐木と集積作業があるが、集積作業に労力を多く使った。次回からは集積作業に工夫が必要である。</li> <li>・緊急事態宣言中に中学生が自主的にヤナギの伐木を10回ぐらい実施していたこともあり、堤防から淀川の水面が見えるくらい伐木作業が進んで、淀川を散策する方が喜んで頂けると嬉しい。</li> <li>・今年伐木した箇所からすでに新芽もみられるので、次回以降は新芽の芽欠き作業も必要になるか。</li> </ul>

## 活動状況



本日の活動内容の説明



ヤナギの木の伐木活動（1）



ヤナギの木の伐木活動（2）



再樹林化抑制対策のための実験木の観察

○連携活動報告

5. 鳥飼ワンドの外来植物駆除 報告・勉強会（オンライン） ・令和3年10月16日（土）

実施状況

活動名	鳥飼ワンドの外来植物駆除 報告・勉強会（オンライン）			
氏名	酒井 信行（河川レンジャーアドバイザー） 原 健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催			
活動日時	令和3年10月16日（土）			
実施場所	オンライン（Zoom）			
参加対象	団体（地域団体・行政）			
参加人数 および 団体名	参加総数	16名		
	参加者	4名	IVUSA 高槻クラブ(3名)、伊藤 R、	
	講師	-		
	スタッフ	-		
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	6名 (株)建設技術研究所 4名 (公財)河川財団 2名
			準備 のみ	-
		行政 機関	当日	-
			準備 のみ	-
	学校 関係	当日	-	
準備 のみ		-		
淀川河川事務所	5名	河川環境課、高槻出張所、毛馬出張所		
河川レンジャー事務局	1名			
スケジュール	15:00	開始（司会：原 RA） 酒井 RA からこれまでの経緯等について説明 出席者紹介		
	15:05	環境管理課 外来水草除去の経過説明		
	15:30	建設技術研究所 外来水草の効果的管理について		
	15:45	質疑 ワンドの取り組みについて 質疑応答		
	16:05	休憩		
	16:15	意見交換（11月7日駆除活動、その後の展開について）		
	17:00	終了		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼ワンドでの外来水草除去の経過</li> <li>・淀川管内河川レンジャーの環境保全の取り組み</li> <li>・外来水草の効果的管理について</li> </ul>			
関係機関からの 支援内容	資料作成・情報提供（河川環境課、高槻出張所、建設技術研究所）、参加者への連絡・メールにて資料の事前送付（事務局）、Zoom 提供（事務局）			
河川レン ジャーの 活動内容	準備	打合せ、資料作成		
	当日	司会進行		
	事後	報告書作成		
参加者からの意見	<p>&lt;11月7日の活動について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外来植物駆除と並行して、ワンドの水生物調査を行う。調査・採取した生き物の同定等の生き物調査の指導を河合先生に依頼する。講師依頼は酒井 RA が行う。</li> <li>○ 当日は、スケジュールや注意事項を簡単に説明し、すぐに駆除作業を始める。資料は配付しない。</li> </ul>			

- 10月31日(日)10時から現地見を行う。河合氏に下見への参加を依頼する。
- 刈り取った外来植物の仮置き場は、10月末から活動日までに出張所で整備する。
- 作業時は、胴長または長靴を履いて行う。感染防止のため各自で準備を原則とするが、事務局でも準備する。事務局が貸し出し可能な胴長の数を確認する。
- 実施計画書・安全対策チェックリストを作成し IVUSA 担当者にも事前送付する。
- 鳥飼ワンドの魚類相を調べた過去の調査 (H12、H23 年度に実施) は、1号、3号、4号、5号ワンドで実施された結果である。当時に比べてワンドが浅くなっているため、投網とたも網を併用して調査するとよいのではないかと。
- 今回は、鳥飼ワンドの現状 (魚など生き物が生息しているのか) を把握し、ワンドが本来の機能を回復できるように、今後活動を進めていってはどうか。
- 河川レンジャー、IVUSA で、地域の沿川の企業にも、今後活動への協力を依頼していく。

<勉強会における質問事項とその回答>

○ 琵琶湖で外来植物を根絶できれば淀川本川での外来植物の繁茂も収束するのか。  
⇒外来植物の琵琶湖での根絶は難しいが、琵琶湖でも大規模な機械を使った駆除や継続して駆除していることで、外来植物の量は減少している。淀川本川でも駆除を続けることが大切である。

○ 約2年間で鳥飼ワンドの外来植物繁茂の状況は改善しているが、これまでと駆除方法や頻度等を変更したのか。継続して高頻度で駆除を実施するには、地域住民の協力が必要と考える。地域住民の外来植物への関心は高いのか。

⇒鳥飼ワンドでは、令和元年度から淀川方式 (除去した水草に泥をかけてワンド内で枯死させる) で、河川事務所が定期的に駆除している。

⇒現状では、住民の関心が高いとは言えず、今後どう関心を集めるかが課題である。年一回大規模なイベントで駆除しても、1年間何もしなければ再び外来植物は繁茂する。早期に見つけてこまめに駆除していくことが効果的であり、地域住民・企業等の協力も得て、定期的に駆除できる体制をつくるのが大切だ。

⇒住民等には、ワンドに愛着をもってもらうことで、定期的にワンドの維持管理に関わってもらうことが望ましい。

<その他の意見>

○ オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの駆除の時期については、花が咲いて種ができる前 (10月頃まで) に駆除することが望ましい。春先がベストである。

○ 駆除の頻度は月一回くらいが望ましい。

○ 駆除の効果が実感できるとモチベーションが上がるのではないかと。

○ 定点観測して、写真等で駆除前、駆除後と比較してはどうか。ただし、ナガエツルノゲイトウはそれほど水面を覆っていないので、空から撮影した写真では、比較してもわかりづらいと思う。

○ 取り残したところを次回に見つけて駆除するということを繰り返していくことで、徐々に外来植物の繁茂する面積が小さくなっていく。

○ 駆除するエリアを絞って、駆除の目標を立て実施してはどうか。目標達成のために必要な頻度で活動を実施する等、柔軟にしておく方が活動を継続しやすいのではないかと。

活動状況



意見交換

**除去の経過と現在の状況(鳥飼ワンド1号)** 淀川河川事務所

のべ6日・11人日で、ほぼ根絶  
(2年に渡って大規模な再繁茂なし) 華体の持ち出しなし

19/9/4	19/9/4	19/9/12	19/9/25	19/10/2
19/10/18	19/11/21	20/5/12	21/8/20・1年後	21/8/31・2年後

13

外来水草除去の経過説明スライド

**外来水草はどのように増えるのか？**

- 増加率は、その年の気候（気温・日射量）・出水の有無・生育地の特性などで変動する
- 今年の面積 = 昨年の面積 × 増加率 × 環境変動量 (0.5~~~1.5~~)
- ただし、この変動幅は現時点では不明で、予測もできない

外来水草の効果的管理についての説明スライド

6. 鳥飼ワンド外来植物駆除大作戦

・令和3年11月7日(日)

実施状況

活動名	鳥飼ワンド外来植物駆除 大作戦			
氏名	杉本 真一 (高槻出張所管内河川レンジャー) 伊藤 茂 (毛馬出張所管内河川レンジャー) 酒井 信行 (河川レンジャーアドバイザー) 原 健二 (河川レンジャーアドバイザー)			
運営形態	共催			
活動日時	令和3年11月7日(日)			
実施場所				
参加対象	地域住民・団体(地域団体・行政・企業など)			
参加人数 および 団体名	参加総数	17名		
	参加者	—		
	講師	1名	河合氏 (淀川環境委員会 委員)	
	スタッフ	1名	東 RA	
	連携 団体 関係 者	市民 団体 等	当日	4名 (株)建設技術研究所
			準備 のみ	—
		行政 機関	当日	—
	準備 のみ		—	
	学校 関係	当日	7名	IVUSA 高槻クラブ
		準備 のみ	—	
	淀川河川事務所	3名	河川環境課、高槻出張所、毛馬出張所	
	河川レンジャー事務局	1名		
スケジュール	9:30	開始 (司会:杉本 R) スケジュール説明 移動しながら河川敷の植物観察 (河合氏による解説) ヨシ・オギ群落の観察、セイタカヨシとヨシの見分け方説明、クズの観察		
	9:45	開会 活動の趣旨説明 (酒井 RA) 高槻出張所弓場所長より挨拶 活動時の注意事項等説明 (杉本 R)		
	9:50	1号ワンドで駆除する外来植物と駆除作業について説明 (建設技術研究所) 駆除場所へ移動 (1号、3号)		
	10:00	外来植物の駆除開始 (全員): 植物をその場で土に埋める「淀川方式」の駆除を試行		

	11:20	水生生物調査（河合氏、建設技術研究所）3号ワンドで調査を実施 1号ワンド前広場で採取した生物の解説（河合氏） <採取した主な生物> 魚類：カダヤシ 二枚貝：イシガイ、淡水シジミ 巻貝：ヒメタニシ、チリメンカワニナ、ハベカワニナ 意見交換会（感想、今後の活動に向けて）
	11:40	終了
配付資料		運営企画書（事前のメール送付） 淀川本川に生息するカワニナ類、淀川の在来イネ科高茎草本（河合氏作成） 平面図（高槻出張所提供）
関係機関からの支援内容		物品支援、資料提供等（河合氏、建設技術研究所、淀川河川事務所（河川環境課、高槻出張所）、レンジャー事務局）
河川レンジャーの活動内容	準備	打合せ（10/16、11/1（WEB））、現地下見（10/31）、資料作成、資材借用（11/5）
	当日	受付、検温、健康調査票の確認・回収、司会進行、安全管理、物品の洗浄、動画撮影
	事後	報告書作成、動画作成
参加者からの意見		<p><b>【採取した水生生物、ワンドの環境に関して】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3号ワンドからイシガイが採取できたことから、3号ワンドの環境はそれほど悪くないと言える。</li> <li>・フナやコイは春になると浅瀬で産卵する。3号ワンドは、フナやコイの産卵場として機能していると考えられるが、今回の調査ではフナの稚魚は見られなかった。ワンドはヘドロが堆積して水深が浅くなっているため、夏は水温が高くなることが予想され、魚にとっては生息しにくい環境になっていると考えられる。</li> <li>・ワンドの周辺は樹林化しており、枝や葉がワンドに落ちることで、ヘドロ化して堆積し、有機物が増えすぎて水質悪化につながるものが懸念される。外来植物の駆除以外に、手の届く範囲で枝打ちを行ってはどうか。また、木が茂ることでワンドに光りが入らなくなるので、伐木等の対策も必要ではないか。</li> <li>・3号ワンドでは、マコモやサデクサの群落などが見られ、湿地環境としては良好といえるのではないか。</li> </ul> <p><b>【参加者からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のような活動が川に関心をもつきっかけになればいいと思う。</li> <li>・活動に参加し、川の環境について知ることができた。活動に参加して、川に関心をもったし、今後も関心を持ち続けたい。</li> <li>・ワンドでは、板のようなものがあると、泥に足をとられることなく作業を行いやすいのではないか。</li> <li>・泥のなかで急に足が沈むところがあり、足を引き抜くのに苦労した。</li> <li>・陸に根を張り、水辺に侵入する外来植物は、根が残っているとそこから再繁茂するので、陸から掘り起こすなどの対策が効果的ではないか。</li> <li>・人手があると作業が一気に進むと感じた。まだ取り残しがあるので、今後も駆除を継続していくことが必要だ。</li> <li>・「淀川方式」は駆除した水草を運搬する手間が省けるので活動しやすい。</li> <li>・最寄りのバス停から近く、河川敷からワンドまでもそれほど遠くないので、アクセスの面では、一般の方々にも参加しやすいと思う。</li> </ul>



活動状況



河川敷の植物観察



開会の挨拶



ワンドの生き物観察



外来植物の駆除作業